

## 「新川夢の桜並木事業」～新川さくら並木連合町内会～



「特色のない地区に何か誇れるものを」と、平成10年に町内会を中心に2,800万円の寄付を集め、二級河川新川水系の右岸に地域住民400名の手により、延長約7.5km、755本の桜の植樹を行い、以後、これまで桜並木の維持管理を継続してきました。翌年から毎年、延べ1,500名が訪れる音楽祭や300名規模のウォーキング大会などのイベント、地元小学校への出前授業など実施し、郷土愛の環境づくりを行っています。また、運営の殆どに地域住民が携わる20周年ライトアップ事業を実施するなど、町内会活動が停滞する団体もある中、地域づくりを超えた取組を行っています。



満開の新川さくら並木



桜の季節に開催されるウォーキング大会



多くの方が訪れる音楽祭



約700人による並木清掃



地元小学生への出前授業



見る者に感動を与える新川夜ざくら